

・研究所は、敦賀移転から4年目を迎えました!



国立大学法人 福井大学附属国際原子力工学研究所

〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目2街区4

TEL:0770-25-0021(代表) FAX:0770-25-0031 <http://www.rine.u-fukui.ac.jp/>

2015年4月発行

附属国際原子力工学研究所は、敦賀移転から4年目を迎えました!

*福井大学敦賀キャンパスのご紹介

平成24年3月、附属国際原子力工学研究所が敦賀市に移転したことに伴い、福井大学敦賀キャンパスが開設されました。敦賀駅から徒歩約3分という立地にある本キャンパスは3階建ての鉄筋構造で、事務棟と研究棟の2つで構成されており、キャンパス内に設けられた中庭からはすべての部屋に光が届くよう設計されています。

学内には学生や教員が研究をするための実験室をはじめ、講義室、図書室や会議室、小規模な打合せに適したゼミ室、リフレッシュルームなどが完備されています。一般の方向けに、昨秋「常設展示室」を設け、研究成果を発信するスペースを整備しました。



※研究所中庭からの眺め



研究所にはスタッフのほか、約30名の学生がいます。他にも若狭湾エネルギー研究センターなどとの連携で、欧州、アジア等の大学、研究機関など海外からの研修生も常に研修活動をしに来ています。

研究所の外観からは近寄りたがたい雰囲気があるかもしれませんが、年に1度「オープンキャンパス」を開催し、様々な企画で研究所内の教職員や学生が皆さんをお待ちしています。是非足を運んでみてください。今後、皆さんに来ていただける講義や出前講座などを増やし、人と地域を繋ぐ大学を目指していきます。

海外からの研修生を紹介します

Mr. Paranagama Shirosh Ayeshmantha



- ★日本の印象：
人が礼儀正しく、食べ物が美味しい!
- ★好きな食べ物：カレーライス
- ★日本に来て驚いたこと：
雪。あとは、海岸線を車で走った時、とても綺麗だった。
- ★メッセージ：外国人研修生を受け入れて、福島での事や情報を提供して勉強させてくれる。安田先生や泉先生は責任を持って様々な情報を発信していて、意欲的で素晴らしいと思う。

本年1月から3月末まで研修生として来ていたシロッシュさん。スリランカ出身の彼はセイロン電力公社のエンジニアで、放射線環境測定について研究されました。

PICK UP

学外講義 & 出前講座

保育園で講演会を行いました



敦賀市内の保育園で保護者を対象として、原子力防災と放射線に関するお話をしました。子供を持つお父さん、お母さんにこそ知ってほしい防災の話。悪天候の中ご参加頂き、熱心に聞いて頂きました。

常設展示室を公開しました！



これまでの震災や原子力災害の教訓と、研究所の成果の発信を目的として、平成26年11月に常設展示室を設けました。防災グッズや原子力発電所の模型、福島での除染活動を示す模型などを揃えています。防災グッズは、1995年の阪神・淡路大震災の教訓と経験を伝える「人と防災未来センター」(神戸市)の展示を参考にしています。皆様に気軽に立ち寄りいただき、交流できる場となるように、雑談スペースやキッズスペース、閲覧用のDVDなどを用意しています。

敦賀市役所と平成25年度に実施した敦賀市の原子力災害に関する意識調査では、「防災や原子力について勉強したい」「研究所がどんな研究をしているのか知りたい」などの意見が寄せられました。展示室はこれらの要望の一部を反映して設置したものです。様々な世代の方々にお越しいただけることを願っています。展示室の見学をご希望される方はお誘いあわせの上、研究所事務室までご連絡ください。

(平日午前9時~午後5時まで。事務室電話：0770-25-0021)



▲防災グッズ

キッズスペース▶



▲放射線測定器



◀放射線防護服体験コーナー

展示室内にはタイベックスーツ(放射線防護服)や放射線測定器(本物)も展示されており、実際に着用したり、使用したりすることができます。

海外から研修生・留学生・研究者が敦賀に来了！

研究所は設置以来、海外から多くの研修生・留学生・研究者を受け入れています。敦賀キャンパス開設後も、平成24年4月から平成26年末までの間に、タイやベトナムなどのアジア諸国、フランスやスウェーデンなどの欧州も含めた14カ国(のべ57名)の研修生・留学生・研究者が研究所にて活動してきています。彼らの研究テーマは、放射線計測・防護、原子力燃材料、熱流動、原子炉物理そして原子力・エネルギー教育など多岐にわたります。

研究所に所属する学生たちは、彼らと日常から活発に交流しています。学生の時から同世代の海外の方に触れることができるのは、本研究所の大きな特徴です。

研究所では、海外からの研修生に対する基礎教育のパッケージを用意しています。原子力分野の基礎から防災まで多岐にわたる講義、近隣の原子力発電所や福井県原子力環境監視センター、市役所、消防などの「現場」を活用した見学なども有効に活用し「原子力立地」敦賀の取組みを学ぶことができますようにしています。研究所で一定期間学んだ彼らには、研究所が発行する修了証明書が授与されます。敦賀を参考に学んだ後に、母国に戻られて活躍されることを私たちは心より楽しみにしています。



※スリランカおよびタイからの研修生と事務スタッフ

今月の防災単語



放射線は目に見えませんが、身の回りに存在するということを知っておくことが重要です。原子力防災においては、「放射線の普段の状況を知る」ことが身を守るためのキーワードです。

キラリ☆Face



特命助教
松尾 陽一郎

原子力防災・危機管理部門で放射線生物学を研究しています。低線量放射線の人体影響に関連する分野は挑戦的でやりがいのあるテーマです。